

## 平成 2 5 年 度 事 業 計 画 ~~(案)~~

### 1. 事 業 方 針

当センターは、設立以来13年、南部5町村が広域化となって5年目を向かえます。この間、24年度契約額において減額となったものの概ね順調に事業を展開して参りました。

世界経済は依然として低迷が続き景気の回復が不透明であります。国内においては政権が代わり今後の経済状況等が期待と不安で入り混じっています。特に最近の円安、燃料の高騰、65歳定年の制度化、年金制度改革、消費税増税案、補助金の大幅削減等々で非常に厳しい状況が続く中、また、本年度から従来の事業費が機能強化推進費へ振替となり、弾力性のある運用ができなくなる等シルバー人材センターを取り巻く環境も一段と厳しく、今後の運営において大変憂慮すべき状況であります。

今、シルバー事業は大きな変革期にあると言われております。全国では解散せざるを得ないシルバーも出ており、ここ数年が勝負で、我慢の時期でもあります。このような状況下で当センターにおいても適正就業の推進による事業の見直し、不況による公共、企業関係の受注も限られ、更に農業の衰退による契約額の減少が予想されます。

一方、会員数については、南部5町村が広域化されてから順調に増加してまいりましたが、昨年あたりから少し減少気味に転じております。会員の確保も就業開拓とともに大変難しい課題であります。

急激に進む少子高齢化社会において、シルバーの果たす役割は大変重要であります。健康で働く意欲のある高齢者が就業を通じて、生きがいの充実と社会参加の推進を図り、会員の能力を活かした地域社会づくりと、地域の福祉の向上に寄与することを目的としており、現代の複雑な社会情勢の中にあつて、シルバー人材センターは稀な「社会システム」として地域社会に定着しています。今後も増加する地域のニーズに応えるため就業開拓の充実と推進及び地域社会にあつた独自事業、企画提案事業、SP事業等の実施をはじめ、社会貢献できる事業を創意工夫し実施しなければならない。

安全で適正就業を基本に、会員、役員、職員が一丸となってシルバーの基本理念「自主・自立・共働・共助」のもと、豊かな活力ある地域づくりを推進するため25年度は、以下の重点目標を定め積極的に事業を展開します。

#### 重点目標

1. 事故撲滅に務める「事故ゼロ・安全就業 第1」
2. 会員拡大(特に女性会員)と会員の資質の向上に努める
3. 各部会等の組織の充実と強化に努める
4. 新規事業の開拓に努める
5. 会員の積極的な参加による事業運営を図る
6. 福利厚生事業の積極的支援に努める
7. 広報活動に務める「広報誌、チラシ、ホームページ他」

## 2. 事業実施計画

### (1) 安全・適正就業推進事業

「安全は 一声かける ゆとりから」(23～25全国統一スローガン)を基本として、安全適正就業の徹底を図る。

24年度は大きな事故もなく、会員一人一人が安全意識と細心の注意を行った結果です。しかし気を緩めることなく組織を挙げて重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図らなければならない。

- ① 機械器具安全取扱講習会の開催 (実技講習会)
- ② 安全・適正就業研修会の開催
- ③ 作業別安全・適正就業マニュアルの励行
- ④ 安全・適正就業への積極的な呼びかけ
- ⑤ 健康管理講習会の開催
- ⑥ 安全パトロールの実施
- ⑦ 作業前のミーティング実施の徹底 (安全確認シート)
- ⑧ 部会の開催
- ⑨ 「標語の募集」を行い優秀作品の表彰

### (2) 普及啓発事業

シルバー事業について理解と認識を高めるため広く地域社会にPRするとともに、会員の拡大及び就業開拓について、あらゆる機会を通じて広報活動と普及啓発を行う。

- ① 地区役員の下、啓蒙活動を活発に実施する(地区代表、各班長)
- ② 普及啓発促進月間(10月)を中心に、諸事業を強力に推進する  
シルバーフェア(阿南病院祭等出店)、8地区ごと独自のボランティア活動等の実施(シルバー旗等の掲示)
- ③ 町村広報誌、チラシ、ホームページ等による広報活動
- ④ 会員1人が1会員を増やす
- ⑤ 研修等を通し会員それぞれが資質の向上を図る
- ⑥ 広報(シルバーだより)年2回の発行
- ⑦ 部会の開催

### (3) 就業開拓等事業

地域社会のニーズに応えるため、また、会員の公平な就業及び就業率向上を目指し、就業の開拓を推進し多様化するそれぞれのニーズに応えるべき事業を検討し実施する。特に団塊世代、60歳退職者、女性会員を中心に、また、職種は少ないが退職ホワイトカラー層も含めて会員拡大と新規事業を検討する。

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 会員自らも就業開拓に努める
- ③ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ④ 地域班、職群班と情報を密にして就業開拓を推進する
- ⑤ 閑散期の就業開拓
- ⑥ 未就業会員対策の検討
- ⑦ 果樹、庭木の剪定講習会実施
- ⑧ 部会の開催

#### (4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立・共働・共助」の精神の徹底を図り共に支えあえる組織の強化に努める。

- ① 専門部会組織の活性化、連絡協調を図りシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織と各部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える
- ③ 各事業部会の活動の活性化を図るとともに連絡協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施（普及啓発部会と連携）  
（各地区特徴ある計画を地区代表の下、企画実行する）
- ⑤ 先進地視察の計画実施
- ⑥ 総会等出席義務行事への参加率の向上に努める
- ⑦ 親睦会活動を支援し会員の交流と福祉の向上に努める
- ⑧ 部会の開催

#### (5) 独自事業

各地区等において特色ある「独自事業」を実施する。新野地区は引き続いて「トウモロコシ栽培と販売」を、大下條地区は「門松等の制作と販売」他の地区もそれぞれ創意工夫し実施を検討する。

#### (6) シニアワークプログラム事業

本年度は、国の委託事業として長野労働局、公共職業安定所、県シルバー連合会と連携し「果樹栽培アシスタント講習」を実施することとなった。5月から10月にかけて、5日間 21時間の講習会を受講し就職、就労に結び付ける事業で、募集人員15名、年齢は55歳以上です。事業実施に当たりご協力をお願いします。

講習内容 「リンゴの栽培に関する実技等」